

7/26 (月) の発表

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時

7/26 (月)

15時00分

発表項目 (行事名)	腸管出血性大腸菌感染症（溶血性尿毒症症候群（HUS）併発事例）の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所)	発表者	
	月 日 ( ) 時 分～	発表場所	
概 要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆腸管出血性大腸菌感染症患者（HUS併発事例）の発生について公表するもの</p> <p>帯広保健所</p>		
参 考			

報道（取材） に当たっての お 願 い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。</p> <p>つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	帯広保健所	

担 当 (連絡先)	保健福祉部感染症対策局感染症対策課感染症対策係（担当：山下）		
	電話	(代 表)	011-231-4111（内線25-506）
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

# 腸管出血性大腸菌感染症の発生について (溶血性尿毒症症候群 (HUS) 併発事例)

令和3年7月26日(月) 15:00

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課

TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)

FAX: 011-232-3719

令和3年(2021年)7月21日(水)(第29週)に、帯広保健所管内の男性(幼児)から、腸管出血性大腸菌(O157型、ペロ毒素産生性)が発生したのでお知らせします。

記

## 1 発生の探知

7月21日(水)に、帯広保健所管内の医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症の患者1名が発生した旨、同保健所に届出があった。

## 2 発生の概要

帯広保健所管内の男性(幼児)1名が、7月12日(月)から腹痛、水様性下痢、発熱症状を呈し、同保健所管内の医療機関を受診し、入院、検査、治療を受けた。

## 3 現在の状況

入院中であるが、快方に向かっている

## 4 経過

7月12日(月) 発熱症状出現  
 13日(火) 下痢、腹痛症状出現、A医療機関を受診。  
 15日(木) B医療機関を受診し入院。  
 17日(土) B医療機関を退院  
 18日(日) 血尿出現  
 19日(月) 溶血性尿毒症症候群(HUS)の併発により、C医療機関に転院し、入院。  
 21日(水) B医療機関より腸管出血性大腸菌感染症の患者発生届を受理

## 5 感染経路

現在調査中

## 6 対応

- ・ 家族等の健康調査及び便検査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗い、うがいの励行及び消毒等の清潔保持の指導

## 7 その他

この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。

\* 報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。

### 腸管出血性大腸菌感染症とは

概要: ペロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。(無症状病原体保有者)

感染経路: 汚染された食品や、感染者の便が口に入ることで感染する。(経口感染)

分類: 感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間: 3~5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等: 手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

### 溶血性尿毒症症候群(HUS)とは

概要: 腸管出血性大腸菌(EHEC)が産生するペロ毒素が、腎臓の微小血管に障害を起こすことで、溶血性貧血、血小板減少、急性腎機能障害といった症状が現れる病態である。

その他、意識障害、痙攣、頭痛といった症状もみられる。

HUSはEHEC感染者の約1~10%に発症し、特に小児や高齢者が発症しやすい。

EHECに感染し、下痢あるいは発熱出現後4~10日に発症することが多い。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況(2021年)

7月26日(月)時点

区分/〇抗原型	1	8	15	25	26	28	55	91	103	115	124	125	126	145	146	157	166	不明	合計
患者					17	1	1		1				1	1		20		4	46
無症状病原体保有者		2	1		10			3		2	1	1	2			4		13	39
計		2	1		27	1	1	3	1	2	1	1	3	1		24		17	85

(単位: 人)

\* 政令市(札幌市・函館市・小樽市・旭川市)及び本日発表分を含む。

\* 全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)